

平成24年度事務事業評価シート (23年度実施事業分)

事業番号	04 07 19	中期総合計画主要施策番号	3-02	担当課	部・課	健康福祉部 健康長寿課	
事業名	がん医療推進事業			内線	2636		
				E-mail	kenko-choju@pref.nagano.lg.jp		
実施期間	H18 ~	根拠法令等	がん診療連携拠点病院の整備に関する指針、がん診療連携拠点病院機能強化事業				
実施方法	補助金(相手方:がん診療連携拠点病院、がん診療連携拠点病院を目指す病院など)					国庫・県単	国庫補助事業・県単独事業

  

事業の概要等	目的(必要性)	地域におけるがん診療連携が円滑に実施され、質の高いがん医療の提供体制が確立されることを目指し、がん診療連携拠点病院やがん相談支援センターなどを整備する。				
	対象	がん診療連携拠点病院、がん診療連携拠点病院を目指す病院				
	目指すべき姿	県内のどの地域においても、がん患者が望む医療を安心して受けられ、がん患者及び家族が可能な限り質の高い療養生活が送れる体制を整備する。				
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>がん診療連携拠点病院整備検討委員会を開催し、がん診療連携拠点病院の指定推薦について審議する。</li> <li>がん診療連携拠点病院が実施する医療従事者研修、地域住民への相談業務、院内がん登録の実施等について補助する。(補助率10/10【国】1/2、【県】1/2(上限H21:16,000千円)) 信州大学医学部附属病院は国が直接補助</li> <li>がん診療連携拠点病院を目指す病院に対し、がん相談支援センターの設置運営費を補助する。</li> <li>がんに関わる医師に対してがん緩和ケア研修会を開催する。</li> </ul>				

  

事業コスト	区分		単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳 ・がん診療連携拠点病院運営費112,481千円(医療従事者に対する研修会の開催、地域住民へのがん相談の実施、院内がん登録の実施、がん緩和ケア研修会の開催等) ・がん相談支援センター10,000千円(がん診療連携拠点病院が整備されていない地域への整備) ・緩和ケア研修会1,502千円(がん拠点病院がない地域での開催)
	最終予算額 (A)		千円	127,983	124,139	938,392	
	決算額 (B)		千円	127,983	124,139	-	
	B(H23はA)のうち一般財源		千円	57,232	64,810	64,399	
	概算人件費	従事する職員数	人	0.50	0.50	0.50	
	概算事業費 (B(H23はA)+C)	概算人件費 (C)	千円	4,159	4,129	4,129	
		千円	132,142	128,268	942,521		

  

事業実績	成果指標・活動指標内容	単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績 ・がん患者会との意見交換会の開催(年1回) ・がん診療連携拠点病院の機能評価(年1回) ・医療従事者、がん相談員に対するレベルアップ(随時)  (効率指標 算出式) 人件費/(指定病院数+相談セ数)
	指定病院数(活)	病院	8	8	9	
	相談支援センター数(活)	病院	12	12	12	
	がん緩和ケア研修会開催数(活)	回	9	9	10	
	<効率指標(単位当たりコスト等)> 1指定病院・相談センターあたりの人件費	千円	208	206	196	

  

事業の成果	事業の目標(H23)		事業成果・評価			評価区分  b 期待どおり
	がん診療連携拠点病院を原則2次医療圏ごと1病院整備する。空白医療圏に対してはがん診療連携拠点病院を目指す病院に対しがん相談支援センターを設置する。その他、がん緩和ケア研修会の開催などによる医療従事者のレベルアップを図る。		・がん診療連携拠点病院の整備: 8病院 ・がん相談支援センターの設置: 4病院 ・がん緩和ケア研修会の開催: 9回(うち1回は、空白医療圏に対し県が主催して開催)			

  

事業の課題	判定・説明					
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明	生涯のうちがんになる可能性は、2人に1人とされており、がん医療提供体制の整備に対する県民のニーズは高い。
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		

  

総合分析等	総合分析(今後の課題、取組方針等)	がん診療連携拠点病院の指定を受けていない二次医療圏がある上に、指定を受けた病院でも、医療従事者の育成や緩和ケアの提供体制、地域連携の整備など、さらに質の高い医療提供体制を整備していくことが引き続き求められている。				
	特記事項					